

ミウズ

No.41 | 2023 秋

一人ひとりの個性と能力が発揮できる社会の実現を目指して

男女平等参画講演会(開催報告)

今を大切にする片づけで身軽な暮らしを

講師 井田 典子さん (整理収納アドバイザー)

2023年6月24日(土) 13:30~15:30 ミレニアムセンター佐倉

井田さんは三人の子育て中からシンプルライフをめざし、モノの整理が心の整理につながることを実感し、各家庭の暮らしに寄り添った片づけ依頼を受けるようになりました。NHK「あさイチ」など各メディアでも“スーパー主婦”として活躍し、実践的な整理・収納術の講演も各地で行っております。

整理収納アドバイザーになったのは、以前私が自宅で学習塾をやっていた時に、ある小学生の家庭が荒れ放題になり、物を探せない状況となってしまう、その子は忘れ物が多くなり、いじめられて結局学校に行けなくなってしまいました。その事を知って、環境を整えることからお手伝いしたいと思ったのがきっかけです。外の人がか来ないと、家族だけでは家の中を客観的に見るができなくなってしまいます。今はなんでも手に入りやすく、家に物を入れる入口は広いけれど、出口が狭い。使い切っていないのに、次の物を買ってしまっ、物がどんどん増える。カウンターやリビングにとりあえずちょい置きした物が、置きっぱなしでいつまでも片づかない。家の中にそんな「よどみ」を作らないためには、①すべてのモノの定位置を決める ②使ったら必ず戻す ③不要になったら早めに処分かリサイクルに出すという「めぐり」をよくすることが大切です。

片づけは種類別に分けて、気にいった物を選んで残します。減らしていけば収納は楽になります。書類等は、コンパクトにして、最新の物だけを残します。こうして目に見える光景が整うと必ず心が軽くなります。

気張らずに、いつでもどうぞと言え家をめざしましょう！



子育て世代向け マネープラン講座

～これから必要な教育費について～

配信期間 2023年6月15日(木)9:00～7月15日(土)20:00

講師 熊谷 明子さん（1級ファイナンシャルプランニング技能士）

教育にかかるお金を知り、奨学金など様々な制度も利用して、その上でいくら必要かを把握することが大切です。

教育費は先取りして貯金し、残ったお金で生活するようにします。また今は無料ツールなどを使って、お金をかけないで子どもにあった勉強もさせられるので、本当に必要な教育費なのか、精査することも大切です。子どもの希望を聞き、住宅資金、老後資金も含めて、家族で話し合うことがとても大切です。



イマドキ子育て世代の仕事と家庭を実現する育休戦略

配信期間 2023年10月15日(日)10:00～11月14日(火)17:00

講師 塚越 学さん（株式会社 日本ギャップ解決研究所 所長
NPO法人ファザーリング・ジャパン理事）

三人のお子さんの育児休暇を計6回取られた塚越さんは、初めてのお子さんの時の新生児育児があまりにも強烈でインパクトがあり、すべての男性は育休を取った方がいいと思ったそうです。父親たちが当たり前に、育休を取る世の中を作っていこうとファザーリング・ジャパンで活動なさっています。

令和4年4月より会社は、妊娠・出産の申出があれば、『制度周知』と『休業取得意向確認』を個別にすることが必要になりましたが、上司からの後押しがあれば、より取りやすくなります。育児は出産直後のもっとも大変な時期であるスタートから、夫婦一緒に始めることが大切です。妻は産後ケアに集中できるようにサポートすれば、男女ともに育児経験によって、子どもへの愛情が強まり育児スキルが向上していきます。

働く女性のパソコンスキルアップ講座 ～Word中級編～

日時：2023年10月21日（土）9:30～16:30

場所：中央公民館 学習室3

講師：渡辺 千春さん（パソコン講師） 佐々木 順子さん（講師補助）

パソコンのスキルアップを目指す女性を対象に、パンフレットを作成しながら、Wordの中級程度を習得する講座を実施しました。ページレイアウトの活用方法、図形や表、写真などに様々な効果的な手法を用い、見栄えのするパンフレットに仕上げる方法や差し込み印刷の方法など、一歩進んだWordの活用を学びました。

～参加者の声～

- ・Wordはあまり使った事がなく、苦手意識がありましたが、こんなにもたくさんの事ができると知って楽しかったです。今日聞いた事は知らなかったし、触らないボタンばかりだったので、参加して良かったです。
- ・一日で長いかなと思いましたが、始まってみたら楽しくてもっともっと教わりたいと感じました。手を挙げたり、さっと振り返っただけで教えに来てくださってさくさく進めました。



登録団体紹介

WITH

「英語で世界とつながろう！」という標語のもとに2008年7月、英語を学びたいという仲間同士で「WITH」を立ち上げました。これまで、やさしい会話を時間をかけて着実に身につけるように続けてきました。幸い魅力的な講師に出会い、楽しくまたワクワク感のある熟年英会話教室となっています。私たちは英語を学ぶことによって生き方が豊かになり、視野が広がり世界とのつながりを感じるようになりました。これからは、学んだことを役立てる活動に結びつけていきたいと思っています。男女平等に関する話題なども積極的に取り上げ、英語を通して世界の人々と交流できることを目指しています。



WITH 連絡先
遠藤 光 ☎043-488-1932

現代短歌さくら

昭和62年、朝日新聞千葉版の選者である藤田武先生をお迎えして始まった勉強会です。先生亡き後、歌壇でご活躍の久我田鶴子先生（「地中海」編集長）のご指導をいただき八年になります。毎月第三木曜日の10時より、前もって詠草係に提出しておいた二首ずつを互いに批評し合い、また久我先生からのアドバイスをいただいております。

その他、話題の歌集の批評会、題詠や連作などにも挑戦しています。会の発足以来の会員から、入会一年程の会員まで和気藹々と充実した学びの時間を過ごしています。



現代短歌さくら 連絡先
市川 和子 ☎043-486-9715

ワンポイント講座

無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に向けて

アンコンシャス・バイアスとは、自分自身では気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」をいいます。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」と呼ばれます。組織における人事・業務管理を行う立場にある方は、組織や組織の構成員（職員、社員）の家庭、ひいては社会全体に与える影響が大きいことから、性別による無意識の思い込みに気づき、これを解消していく必要性が特に高いと考えられます。

性別役割に関する考え

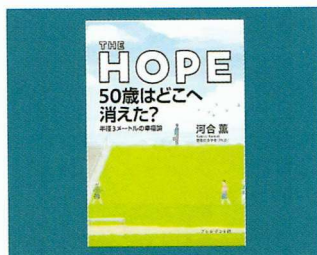
男性 上位10項目	回答者数：5452	(%)	(参考) 前回 順位	女性 上位10項目	回答者数：5384	(%)	(参考) 前回 順位
1 男性は仕事をして家計を支えるべきだ		48.7	2	1 男性は仕事をして家計を支えるべきだ		44.9	2
2 女性には女性らしい感性があるものだ		45.7	1	2 女性には女性らしい感性があるものだ		43.1	1
3 女性は感情的になりやすい		35.3	4	3 女性は感情的になりやすい		37.0	3
4 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		34.0	3	4 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない		33.2	4
5 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない		33.8	5	5 女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い		27.2	—
6 女性は弱い存在なので、守られなければならない		33.1	—	6 女性は弱い存在なので、守られなければならない		23.4	—
7 男性は結婚して家庭をもって一人前だ		30.4	7	7 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ		21.6	5
8 男性は人前で泣くべきではない		28.9	6	8 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		21.5	10
9 女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い		28.6	—	9 組織のリーダーは男性の方が向いている		20.9	8
10 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ		28.4	8	9 大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい		20.9	8
11 家事・育児は女性がするべきだ		27.3	9	11 家事・育児は女性がするべきだ		20.7	7
14 家を継ぐのは男性であるべきだ		25.4	10	12 共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ		20.3	6

参考資料：令和4年度 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究（内閣府男女共同参画局）

おすすりめ図書

『THE HOPE 50歳はどこへ消えた？ 半径3メートルの幸福論』

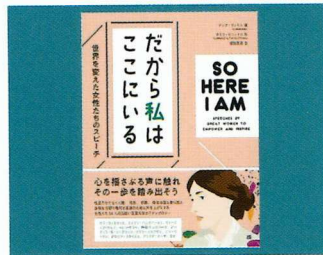
河合 薫 著 プレジデント社



50歳は、まだ人生の途上なのだ。サラリーマンは必ず終わる。肩書は無意味になる。だからこそ、どう生きるか。「サラリーマン"無理ゲー"社会」をこれからどう生きる。気鋭の健康社会学者にして、Web連載コラムがビジネスマンに大人気の著者が、最新研究の知見、直接インタビューをした約900人のビジネスマン、みずからの実体験を通して語るまったく新しい"幸福を手にする"ための生存戦略。

『だから私はここにいる』 世界を変えた女性たちのスピーチ

アンナ・ラッセル 著 カミラ・ピニエロ 絵
堀越 英美 訳 フィルムアート社



女性の権利を求める闘いが始まった1830年代から現代までのさまざまな女性によるスピーチ54本が収録されており、女性によってもたらされた変革の歴史を「言葉」という入り口から簡潔にたどることができます。ヒロインでも聖人でもない実在の人物による54のスピーチはどれもウィットに富んで説得力があり、人柄が感じられ、強い信念に貫かれた情熱的なものばかりです。

『一緒に生きる 親子の風景』

東 直子 著 塩川 いづみ 画
福音館書店



子育てはもっと自由であっていい。先人たちの詩や短歌とともに綴られる歌人の言葉から、文学としての「親子の風景」が見えてくる。塩川いづみの絵を2色カラーでふんだんに収録。巻末には作家・山崎ナオコらとの子育て対談も。



今回ご紹介した図書は、男女平等参画推進センターミウズに配架してあります。どうぞご利用ください。

女性のための相談

女性が抱える様々な悩みや不安に対し、解決の道を探るための1対1のカウンセリングです。専門の女性相談員が応じます。

毎週金曜日 午前10時～午後3時
(第3金曜日は午後3時～午後8時)

まずはご予約ください

要予約
秘密厳守
無料

ひとりで悩まないで、
一緒に考えましょう

☎043-460-2580

佐倉市男女平等参画推進センターミウズ

女性のための法律相談

離婚・DV・ハラスメント・ストーカー・労働環境など、様々な問題を抱え、法的な助言を必要とする女性を対象に、女性弁護士による無料法律相談を期間限定で行っています。

R5年度6月～3月第4金曜日
10:00～15:00

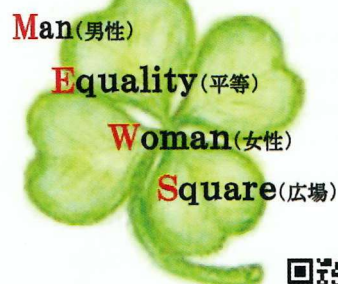
(お一人40分一回のみ)

指定管理者制度導入施設 佐倉市男女平等参画推進センター ミウズ

〒285-0837 佐倉市王子台1-23
レイクピアウスイ3階



- 開館時間 9:00～20:00
- 休館日 毎月第4水曜日
年末年始(12/29～1/3)
- 施設案内
 - *学習室
 - *ミーティングスペース
 - *図書コーナー
(市内図書館オンライン)
 - *インターネット利用
 - *女性のための相談



<http://mews.shiteikanri-sakura.jp> E-mail: info@mews.shiteikanri-sakura.jp

TEL.043-460-2580 FAX.043-460-2582



ミウズ No.41 2023 秋 令和5年11月発行

編集・発行 佐倉市男女平等参画推進センター ミウズ 指定管理者 株式会社明日葉